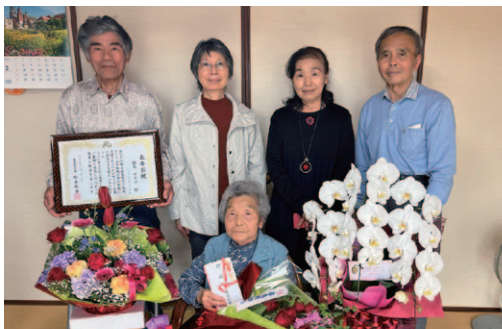


いつまでもお元気で

100歳
おめでとうございます



福島 ヤスヨさん(深江町)
大正12年3月21日生まれ



伊藤 サヤ子さん(北有馬町)
大正12年3月24日生まれ



林田 喜久士さん(有家町)
大正12年3月31日生まれ



宮崎 スヨさん(布津町)
大正12年3月31日生まれ



県内最高齢 109歳

八木 カ子コさん(北有馬町)
大正3年1月1日生まれ

八木カ子コさん(109歳)が県内最高齢者になりました。松本市長から「これからもお元気で過ごしてください」との声かけに笑顔で答えられました。



6「口之津灯台」の航路標識協力団体に指定

九州オレ南島原コース上にある「口之津灯台」周辺の草刈りや実際に使用されていたレンズ展示などの周知啓発活動に取り組んだことが評価され、航路標識協力団体に指定されました。

3月22日、長崎海上保安部において指定証交付式が行われ、長崎市など4団体が出席しました。

今後も海上保安庁にご協力をいただきながら、イベント時における口之津灯台の一般開放などの啓発活動に取り組めます。



7 B&G PR大賞で優秀賞を受賞

「2022 B&G PR大賞」まちレポ部門において、加津佐海洋センターが優秀賞を受賞しました。

当センターは、海洋ごみ問題やSDGsなどに地元小学校と連携して取り組み、その様子をレポートして広報を行っていることが評価されました。

Focus in 南島原

市内各地で行われたイベントやまちの話題をお届けします。

まちの話題



4 農林水産省畜産局長賞を受賞

3月15日に開催された「第9回全国自給飼料生産コンクール」放牧部門において、廣瀬博一さん(深江町)が農林水産省畜産局長賞に輝きました。

廣瀬さんは黒毛和牛の繁殖をされており、粗飼料自給率の高さや繁殖成績が優れているなど粗飼料の有効性を強く示したこと、未利用土地資源の水無川河川敷での放牧、ドローンを使った牧草種子の播種を県内で初めて行うなど先進的な取り組みが評価されました。



左から高木代表取締役兼 C.R.O、松本市長、ヴィヴィくん

2 J1昇格へ!V・ファーレン長崎が表敬訪問

V・ファーレン長崎の高木琢也代表取締役兼 C.R.O(本市出身)とクラブマスコットのヴィヴィくんが市役所を訪れ、今シーズンの J1 昇格に向けた決意や地域クラブとしての市町連携について話しました。

高木氏は「県全体を盛り上げていくためには、より一層の地域密着を図り、各市町と連携した取り組みが必要となる。今後さまざまな場面でのご協力をお願いしたい」と連携の必要性を話しました。



5 南有馬町船員会がボランティア清掃

3月18日、南有馬町船員会の会員25人が、西望公園内の草刈りなどの清掃を行いました。

同会は昨年10月にも同公園の草刈清掃を、2月には原城跡や周辺道路の清掃も実施しました。

参加者は草刈機などで丁寧に草を刈り、公園がとてもきれいな姿になりました。会員の皆さん、ありがとうございました。



左から、①霧生さん、②田中さん、③海野さん、松本市長

3 招へい作家3人が制作作品を寄贈

3月22日、全国公募による芸術家を招いて、制作活動のほか、地域交流活動を行う「アーティスト・イン・レジデンス事業」において、本市に1月下旬から滞り活動した3人の版画家が、活動報告を行い、制作した版画作品を市に寄贈しました。

【招へい作家「寄贈作品名」】

- ①霧生 まどかさん 「You are beautiful #3」
- ②田中 彰さん 「Arakabu・Oe Fishing Port・Minamishimabara」
- ③海野 幸太郎さん 「Petanque Minamishimabara 2023/02 #2」